

生物多様性の高い森林の再生と持続的管理

活動地域  日本全国



手入れで切った木で建てた洗場と活躍した馬

課題

森づくりの現場では、生物多様性の考え方が浸透しておらず、自然の再生を掲げながら外来種や遠隔地の苗木を使用し、生物多様性の劣化を招いている状況がある。

目標

工事等で裸になったところや単一樹種の人工林を生物多様性の高い樹林に誘導すると同時に、手入れで発生する木材等を利用し、地域の活性化に役立てるシステムを構築する。



今後の展望

活動を合理的な方向へ継続、発展させるには、若い世代が現場の状況を知る必要があり、その分野を学ぶ学生にその機会を与えることが重要である。専門職として活動する可能性の高い学生に現場を見せる工夫をしたい。

はじめる助成

1年目

実践

活動内容と成果

地域の樹木からの採種、育苗、植栽、追跡調査からなる生物多様性の高い樹林造成システムである生態学的混播・混植法を実施した。また、人工林や二次林の生物多様性を高める単木的な森林管理法である育成木施業を実施した。これらの結果、生物多様性を構成する種のレベル、遺伝子のレベル、生態系のレベルの観点から見て各地域に相応しい樹林造成の可能性を示すことができた。さらに、育成木施業では、木材を馬で搬出し、森林の保全を図るとともに、搬出した木材を用いて地域の要望が強かったキャンプ場の洗い場を建設した。



林内での植栽用の防草シートの設置

活動参加延べ人数 **170人**

森林手入れ面積 **5,500㎡**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

各分野のプロは、ボランティアとしてではなく、正当な対価を支払わないと、良い仕事が続かない。そのため資金の確保が大変。

■ 工夫した点

プロの生活が成り立つ正当な対価を支払えるよう、謝金や旅費に制約の少ない助成や寄付金集めた。

〒108-0075
東京都港区港南2丁目4-8
大島ビル3F
電話：03-6433-3106
E-mail：okamura.toshikuni@gmail.com
HP：https://kinshizenforestry.com

